

プログラム評価研究における質的分析 ～医学教育研究における質的研究～

東京大学医学教育国際協力研究センター
錦織宏

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

今日の内容

- ▼ プログラム評価研究の概略
- ▼ 医学教育研究における質的研究
- ▼ 質的分析をやってみる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

今日の内容

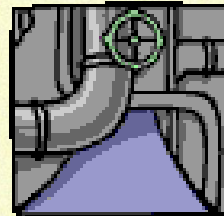
- ▼ プログラム評価研究の概略
- ▼ 医学教育研究における質的研究
- ▼ 質的分析をやってみる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(1)

～カリキュラム開発におけるプログラム評価の位置づけ～

- ▼ ニーズ評価
- ▼ → プログラム開発
- ▼ → プログラム実施
- ▼ → プログラム評価
- ▼ → プログラム修正



PDCAサイクル

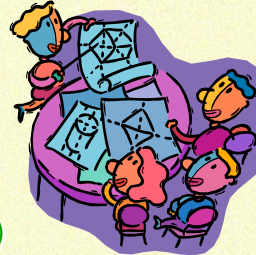
Julie McDonald et al. CD11. Curriculum Evaluation. Postgraduate Certificate, Diploma and Masters in Medical Education. Centre for Medical Education, University of Dundee, 2006 を一部改変.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(2)

～プログラム評価の戦略(1)～

- ▶ プログラム評価
 - ▶ 何を評価するか? (What)
 - ▶ 誰が評価するか? (Who)
 - ▶ いつ評価するか? (When)
 - ▶ どのように評価するか? (How)



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(3)

～プログラム評価の戦略(2)～

- ▶ 何を評価するか? (主にアウトカム評価)
 - ▶ Kirkpatrickのカリキュラム評価レベル
 - ▶ Level 1-Learner's reactions
 - ▶ Level 2a-Modification of attitudes and perceptions
 - ▶ Level 2b-Acquisition of knowledge and skills
 - ▶ Level 3-Change in behaviour
 - ▶ Level 4a-Change in organisational practice
 - ▶ Level 4b-Benefits to patients or clients

Morrison J. ABC of learning and teaching in medicine: Evaluation. *BMJ*. 2003;326:385-387.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(4)

～プログラム評価の戦略(3)～

- ▼ 誰が評価するか？
 - ▼ 学生/学習者
 - ▼ 教員/指導者
 - ▼ 患者
 - ▼ 医学部長
 - ▼ 非医療者である外部評価者



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(5)

～プログラム評価の戦略(4)～

- ▼ いつ評価するか？
 - ▼ 短期的な評価が多い
 - ▼ 長期的な教育効果測定的重要性
 - ▼ 交絡因子
 - ▼ 複数回評価⇔実現可能性

▼ LOGIC model

- ▼ Keller A, Bauerle JA. Using a logic model to relate the strategic to the tactical in program planning and evaluation: an illustration based on social norms interventions. *Am J Health Promot.* 2009;24:89-92, ii.



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(6)

～プログラム評価の戦略(5)～

- ♪ どのように評価するか？
 - ♪ 量的に評価—アンケート・試験の成績など
 - ♪ 質的に評価—インタビュー・観察など
 - ♪ Mixed method
- ♪ 多面的な評価が必要

Morrison J. ABC of learning and teaching in medicine: Evaluation. *BMJ*. 2003;**326**:385-387.

Schiffedercker KE, Reed VA. Using mixed methods research in medical education: basic guidelines for researchers. *Med Educ*. 2009;**43**:637-644.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(7)

～評価と研究の相違(1)～

- ♪ 評価(プログラム評価)
 - ♪ 施設内で実施・共有
 - ♪ 倫理審査を受ける必要はない
 - ♪ 継続して行っていく
- ♪ 研究(プログラム評価研究)
 - ♪ 一般化可能な結果を導く(最終的に論文にする)
 - ♪ 倫理審査を受ける必要がある
 - ♪ リサーチクエストンに対する答が得られれば、継続する必要はない



Morrison J. ABC of learning and teaching in medicine: Evaluation. *BMJ*. 2003;**326**:385-387.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(8)

～評価と研究の相違(2)～

- ▶ プログラム評価を研究にするためには？
 - ▶ 独創性(他に類を見ないプログラムか?)
 - ▶ 先行研究をあたる/医学教育学の教科書を読む
 - ▶ 既存の教育理論の上に独創的な結果を積み重ねる
 - ▶ 一般化可能性(他の施設でも実施可能か?)
 - ▶ 投稿する雑誌/発表する学会による
 - ▶ 英文誌に投稿する場合国際的(西洋的)な視点が必要
- ▶ 読者の視点に立つことが重要

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(9)

～医学教育研究論文の評価法～

- ▶ 1999年BMJ掲載の教育介入研究論文の評価法
- ▶ Two crucial factors in good studies are that the educational rationale behind the intervention is made explicit and that the evaluation is planned in advance

Guidelines for evaluating papers on educational interventions.
BMJ. 1999;318:1265-1267.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(10)

- ▼ どのように評価するか？
 - ▼ 量的に評価—アンケート・試験の成績など
 - ▼ 質的に評価—インタビュー・観察など
 - ▼ Mixed method
- ▼ 多面的な評価が必要

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

プログラム評価研究の概略(11)

- ▼ どのように評価するか？
 - ▼ 量的に評価—アンケート・試験の成績など
 - ▼ 質的に評価—インタビュー・観察など
 - ▼ Mixed method
- ▼ 多面的な評価が必要

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

今日の内容

- ▶ プログラム評価研究の概略
- ▶ 医学教育研究における質的研究
- ▶ 質的分析をやってみる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(1)

～「教育を研究する」ということ(1)～

- ▶ 教育研究に共通するもの
 - ▶ 研究の中心となる問題・トピック
 - ▶ 研究する場
 - ▶ 研究者の背景知識や研究技能
 - ▶ 研究方法
 - ▶ 研究する目的



を研究する人が意識して持っていること

秋田喜代美, はじめての質的研究法, 東京図書, 2007年

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(2)

～「教育を研究する」ということ(2)～

要素	教育研究 (Educational Research)	教育を対象とする 研究(Research on Education)
データ	質的	量的
視点	自然観察	科学的実証
理論	実態を明らかに する理論の形成	フォーマルな理論 からの検証
方法	事例研究	実験研究

Elliot, J. Reflection where the action is. London, N.Y. Routledge. 2007

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(3)

～「教育を研究する」ということ(3)～

要素	教育研究	教育を対象とする研究
技法	参与観察とイン フォーマルなインタ ビュー	事前に決めたカテゴリーを 用いての非参与調査や観察
概念	感受概念、後天的に 観察から帰納的に 概念が構成	定義的な限定概念、演繹的 に前もって研究に使用され る概念が考えられている
分析への参加	指導者・学生も参加	指導者・学生は参加せず

Elliot, J. Reflection where the action is. London, N.Y. Routledge. 2007

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(4)

～社会科学としての医学教育学～

- ✦ 国際雑誌Medical Education誌の投稿規程
 - ✦ Qualitative and quantitative research approaches are equally welcome.
- ✦ 量的研究と同様に質的研究は医学教育研究の主な研究手法の一つ
 - ✦ 社会科学の一つとしての医学教育学
 - ✦ 人類学・社会学・教育学における質的研究の歴史

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(5)

～質的研究とは何か?～

- ✦ 対象を数(量)においてではなく質において理解するための研究



大谷尚, 質的研究をやってみよう。
第23回日本家庭医療学会学術集会, 2009年5月31日, 東京大学

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(6)

～身のまわりの量的なものと質的なもの～

- ▼ 学生の入学試験で
 - ▼ 面接時のAさんの眼がやる気に満ち溢れていたがBさんはそわそわして落ち着かない感じだった
 - ▼ 態度面を測定する筆記試験でAさんは72点、Bさんは90点
- ▼ 研修医の評価をする際に
 - ▼ 信頼している看護師長が「よくがんばっている」と言う
- ▼ EPOCで全研修医中No1



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(7)

～質的研究の実施(1)～

- ▼ 一般的な研究の流れ
1. リサーチクエスチョンを立てる
 2. 先行研究をあたる
 3. 研究デザインをする
 4. 研究を実施する
 5. 結果を分析する
 6. 論文にまとめる



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(8)

～質的研究の実施(2)～

▼ 質的研究のリサーチクエスチョン

- ▼ 5W1H(特にHowとWhy)が多い
- ▼ 例:どうなっているのか? どうしてなのか?
- ▼ これまでの(主に量的な)研究手法では解けなかったクエスチョンにアプローチできる



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(9)

～質的研究の実施(3)～

▼ 例えばこんな質的研究論文

- ▼ How medical students demonstrate their professionalism when reflecting on experience?
- ▼ Doctors' perceptions of why 360-degree feedback does (not) work: a qualitative study

いずれも2009年のMedical Education誌

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(10)

～質的研究の実施(4)～

- ▼ 質的研究における先行研究の検索
 - ▶ 医学教育学のみならず、哲学・社会学・政治学・経済学・教育学など幅広くあたる必要がある
 - ▶ WhatやHowといったOpenなクエスチョンなので、類似するクエスチョンが他の分野で研究されている可能性がある
 - ▶ 多面的な見方を提供するという質的研究の特徴からも、広くあたる方が論文が面白くなる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(11)

～質的研究の実施(5)～

- ▼ 質的研究のサンプリング
 - ▶ 理論的サンプリング(動的)
 - ▶ 母集団の範囲・特性が事前にわからない
 - ▶ サンプル数は事前に決まっていない
 - ▶ サンプリングは理論的飽和に至れば終わる
 - ▶ 研究の過程で明確になってくる理論によって統制
 - ▶ 完全調査(静的)
 - ▶ サンプルを事前に決定



Glaser B.G. & Strauss, A.L. The Discovery of Grounded Theory: Strategies for Qualitative Research. New York: Aldine, 1967
Gerhardt, U. Patientenkarrieren: Eine medizisozioologische Studie. Frankfurt: Suhrkamp, 1986.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(12)

～質的研究の実施(6)～

質的研究のデータ収集

- インタビュー
- フォーカスグループ
- 観察

Morrison J. ABC of learning and teaching in medicine: Evaluation. *BMJ*. 2003;326:385-387.

	Subjective	Objective
Qualitative	Focus groups interviews	Analysis of tasks successfully completed in an OSCE station
Quantitative	Surveys	Trends in examination scores

OSCE = objective structured clinical examination

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(13)

～質的研究の実施(7)～

例えばこんなサンプリング&データ収集

- Participants were enrolled in the Bachelor of Medicine degree course... They were invited to participate by letter.
- Three focus group discussions were conducted
- These discussions were approximately 2 hours long and were audiotaped.

Garvey G, Rolfe IE, Pearson SA, Treloar C. Indigenous Australian medical students' perceptions of their medical school training. *Med Educ*. 2009;43:1047-1055.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(14)

～質的研究の実施(8)～

▼ 質的研究の分析(1)

- ▼ 研究の実行と並行して行い、また記録以外の得られた資料も統合して行う
- ▼ 研究者の主観を排さない
- ▼ 研究者自身がツール



大谷尚, 質的研究をやってみよう.
第23回日本家庭医療学会学術集会, 2009年5月31日, 東京大学

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(15)

～質的研究の実施(9)～

▼ 質的研究の分析(2)

- ▼ SCAT (Steps for Coding and Theorization)による4段階のコーディング
- ▼ Thematic analysis
- ▼ Thematic synthesis analysis
- ▼ 直感によってコードをつけていきながら、起きている現象を言語化していく

大谷尚, 4ステップコーディングによる質的データ分析手法SCATの提案.
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要, 2007年, 27-44

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(16)

～質的研究の実施(10)～

- 聞き手：そういう点では、こちらの、どちらかというオンとオフがはっきりしているという点で、ドクターとしての姿勢は違うし、見習ってもええんちゃうかということが言えるかな。
- 話し手：そう思いますね。ドクターの目からしてみれば、休みは欲しいですし、そう思いますけど、でも、患者さんの目から見たら、たぶん日本のドクターは最高やと思います、ちゃんとやってくれるし。

＜患者中心の医療という観点からの日本の医療の質の再認識＞

＜医師の労働体制に関する問題点の認識＞

＜医師の労働環境と医療の質の両立の難しさの認識＞

Nishigori H, Otani T, Platt S, Uchino M, Ban N. I came, I saw, I reflected: a qualitative study into learning outcomes of international electives for Japanese and British medical students. *Med Teach*. 2009;31:e196-201.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(17)

～質的研究の実施(11)～

質的研究の結果

- クエスチョンに対して抽出された概念やモデル
 - 概念化・モデル化することによって、読者がその事象に対してより理解を深めることができたり(例：婚活)、類似する事象に対して対応することができる(例：フィードバックのモデル)
- 読者に「なるほど！」と思ってもらえるか？
- 考察が十分に深いか？
- 暗黙知の形式知化

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(18)

～質的研究の実施(12)～

▼ 例えばこんな結果

▼ Elisabeth Kübler-Rossの死の受容のプロセス

1. 否認(自分が死ぬということは嘘ではないのかと疑う)
2. 怒り(なぜ自分が死ななければならないのかという怒りを周囲に向ける)
3. 取引(なんとか死なずにすむように取引をしようと試みる。何かにすがろうという心理状態)
4. 抑うつ(なにもできなくなる)
5. 受容(最終的に自分が死に行くことを受け入れる)

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(19)

～質的研究の実施(13)～

▼ 医学教育現場では質的研究の結果が多く利用

- ▼ フィードバックのMicroskillモデル
- ▼ カリキュラム評価のKirkpatrickのモデル
- ▼ 学習者評価のMillerのピラミッド
- ▼ アウトカム基盤型カリキュラムモデル

▼ 教育研究⇔教育を対象とする研究

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(20)

～質的研究の実施(14)～

▼ 質的研究で論文を書く(錦織の例)

- ▼ 医学生が海外の臨床実習で何を学んでいるのか?
- ▼ 英国で臨床実習を行った16名の日本人医学生と日本で臨床実習を行った6名の英国人医学生にそれぞれ日本語と英語で個別インタビュー
- ▼ Thematic Synthesis Method
- ▼ 日英の複数の研究者で分析(Triangulation)

Nishigori H, Otani T, Plint S, Uchino M, Ban N. I came, I saw, I reflected: a qualitative study into learning outcomes of international electives for Japanese and British medical students. *Med Teach*. 2009;31:e196-201.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(21)

～質的研究の実施(15)～

▼ 質的研究で論文を書く(錦織の例)

- ▼ 9つのLearning Outcomesを明らかに
 - ▼ 医療制度・医療倫理・医学教育・病歴と身体診察・自国で見ない病気・労働倫理・文化適応力・医療者患者関係・個人的な成長
- ▼ 海外臨床実習のポートフォリオ作成の際の、学習目標設定に役に立ててもらいたい

Nishigori H, Otani T, Plint S, Uchino M, Ban N. I came, I saw, I reflected: a qualitative study into learning outcomes of international electives for Japanese and British medical students. *Med Teach*. 2009;31:e196-201.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

今日の内容

- ▼ プログラム評価研究の概略
- ▼ 医学教育研究における質的研究
- ▼ 質的分析をやってみる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

質的分析をやってみる(1)

- ▼ まず個人で4ステップコーディングのやり方で分析をやってみてください(20分程度)
- ▼ 次にグループ内で分析結果を比較してみてください(Triangulation)(10分程度)

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

質的分析をやってみる(2)

- ▼ 詳しくは「質的研究による医学教育研究 第1回 セミナーとワークショップ」
- ▼ 2009年12月19日・20日
- ▼ 名城大学名駅サテライト MSAT (多目的室)
- ▼ 大谷尚先生・錦織宏
- ▼ 東京開催も予定しています

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

今日の内容

- ▼ プログラム評価研究の概略
- ▼ 医学教育研究における質的研究
- ▼ 質的分析をやってみる

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(22)

～質的研究の実施(16)～

- ▼ 実際に質的研究をやってみて(1)
 - ▼ 先行研究は幅広くあたる(100近く論文を読む)
 - ▼ インタビューは医療面接や学習者の振り返りを促す作業と類似。1日1人が望ましい。
 - ▼ 分析には語彙力・言語化能力がかなり必要。作業中は脳内グルコース濃度の低下が著明。国語力のなさを痛感

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(23)

～質的研究の実施(17)～

- ▼ 実際に質的研究をやってみて(2)
 - ▼ 英文論文の執筆には英語力(語彙力)がさらに必要で「こりゃとんでもない世界かも」
 - ▼ 論文を書きながら「気づく」瞬間は快感
 - ▼ 言語化による気づきは「振り返り」と同じ
 - ▼ 本質に迫れるのが質的研究の最も好きなところ
 - ▼ 論文の量産はできないが、やっぱりやりたい

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(24)

～質的研究の実施(18)～

- ▼ 学位審査(医学系研究科)での諮問
 - ▼ ただの物語(Anecdote)で科学的ではない
 - ▼ わかりきったあたり前の結果ではないですか？
 - ▼ 客観性の担保についてどのようにしましたか？
- ▼ これらの問いに対する答を持っておく必要がある

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(25)

～質的研究の本質(1)～

- ▼ 科学とは何か？(1)～科学論の二大潮流～
 - ▼ 帰納主義：一回起性の出来事の観察や記述を積み重ねていく中でそこから共通の事実を見出す
 - ▼ ポパーの批判：全称的理論は単称言明から導出できないので帰納というものは存在しない。
→理論的飽和はそもそも不可能・数学的帰納法と社会科学

西條剛央, 質的研究とは何か, 新曜社, 2008年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(26)

～質的研究の本質(2)～

- ▼ 科学とは何か？(2)～科学論の二大潮流～
 - ▼ ポパーの主張：経験的科学体系にとっては反駁(はんぱく≡反論)されうるということが可能でなければならない
 - ▼ 反証主義：科学理論は反証可能でなければならない
 - 帰無仮説を棄却するという研究手法

西條剛央, 質的研究とは何か, 新曜社, 2008年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(27)

～質的研究の本質(3)～

- ▼ 科学とは何か？(3)～科学論の歴史～
 - ▼ 客観主義：事象を細分化すれば真実がわかる
 - ▼ 社会的構築主義：現実の社会現象や社会に存在する事実や実態・意味とは、すべて人々の頭の中で(感情や意識の中で)作り上げられたものであり、それを離れては存在しない
 - ▼ 科学的知見も社会的に構築されたものとして相対化

西條剛央, 質的研究とは何か, 新曜社, 2008年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(28)

～質的研究の本質(4)～

- ▼ 科学とは何か？(4)～構造主義科学論～
 - ▼ 科学性の条件として
 - ▼ 事象を構造化する
 - ▼ 構造化に至る過程を明示する
 - ▼ 「近年の科学論では、事象を構造化してそのプロセスを明示することが科学的であることの条件とされており、その意味において、本研究の科学性は担保されていると考えます。」という反論

西條剛央, 質的研究とは何か, 新曜社, 2008年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(29)

～質的研究の本質(5)～

- ▼ 質的研究は客観的でない？
 - ▼ フッサールの現象学：絶対的客観性は存在しない
 - ▼ 誰もが主観で捉えたとしても、その主観性と主観性の間で成立している共通項があれば、それは「共同主観的(間主観的)」と言え、これは一種の客観性に近いものである

斉藤孝, 1分で大切なことを伝える技術, PHP新書, 2009年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(30)

～質的研究の本質(6)～

▽ Triangulation

- ▽ 一つの現象に対してさまざまな方法、研究者、調査群、空間的・時間的セッティングあるいは異なった理論的立場を組み合わせること
- ▽ 質的研究の客観性を(ある程度)担保するために必要

ウヴェ・フリック著、小田博志他訳、質的研究入門、春秋社、2002年。

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(31)

～質的研究実施の心構え(1)～

- ▽ 質的研究を実施する上で重要なこと
 - ▽ 人の話をよく聴く
 - ▽ 多面的な視点を持つ
 - ▽ 言葉を大事に使う
 - ▽ 自分を客観視する



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(32)

～質的研究実施の心構え(2)～

- ▼ 質的研究の基本的な考え方
 - ▼ 研究対象に対する方法と理論の適切性
 - ▼ 研究対象者の視点とその多様性
 - ▼ 研究者による自己と研究に対する内省
 - ▼ アプローチと方法の多様性

ウヴェ・フリック著, 小田博志他訳, 質的研究入門, 春秋社, 2002年.

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(33)

～質的研究実施の心構え(3)～

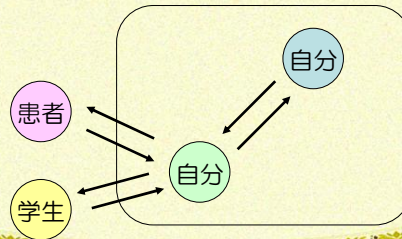
- ▼ 質的研究をやってよかったこと
 - ▼ (少しは)人の話をよく聴くようになった
 - ▼ (少しは)多面的な視点を持てるようになった
 - ▼ (少しは)言葉を大事に使うようになった
 - ▼ (少しは)自分を客観視できるようになった
- ▼ 人生がハッピーになると思います。

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

医学教育研究における質的研究(34)

～質的研究実施の心構え(4)～

- 質的研究をやりながら最近感じていること
 - どんどん哲学者になってきている
 - マックスウェーバーの「社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」
 - 考える自分と行動する自分の両方の活性化は医学教育家としての永遠の課題



日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏

まとめ

- カリキュラム評価研究を実施するにはそれに独創性と一般化可能性が必要である
- 医学教育研究における質的研究は、研究者自身をツールとし、主にHowやWhyで表現される教育に関するクエスチョンを、事象を構造化しそのプロセスを明示しながら、間主観的に解いていく研究である

日本医学教育学会 2009-11教育研究開発委員会 2009年11月28日@東大 錦織宏